

来春

テレビ朝日開局 50 周年
記念ドラマ「警官の血」

放映

予定

— ドラマ「警官の血」 —

正義のために生きた親子三代の警察官が、衝撃の真犯人にたどり着くまでを描くミステリー。原作は、佐々木 讓 さんの同名小説。監督・脚本は昨年紫綬褒章を受章した鶴橋康夫さん。江口洋介さん、吉岡秀隆さん、伊藤英明さん、椎名桔平さんら豪華俳優陣が出演する約5時間の超大作。

▲下町の長屋に住む子どもを演じた田川小の児童たち



▲和気あいの空気が流れるリハーサル

テレビドラマ
「警官の血」 松原地区でロケ

市民ら50人がエキストラで熱演

9月3日・4日、テレビ朝日開局 50 周年記念ドラマ「警官の血」の撮影が、松原一区の炭釜住宅（松原郵便局裏）で行われました。田川からはエキストラ約 50 人が出演。「たがわ 21 女性会議」や「田川商工会議所青年部」の会員らが、俳優の江口洋介さんや木村佳乃さんと熱演しました。

この日の撮影は、昭和 20 年代の東京下町の設定。地元エキストラは、江口さん演じる警察官と木村さん演じるその妻が暮らす長屋の住人役。うらかな天気恵まれ、和やかな雰囲気でもロケが進むなか、出演者らは熱のこもった演技で制作スタッフをうならせていました。

放送は来春の予定。田川の出演者の熱演ぶりが全国に放映されるのが楽しみです。



▲鶴橋監督（左）から演技指導を受ける「井戸の女」役のみなさん



▲昭和 20 年代の雰囲気をかもし出す長屋と住人役のエキストラ



▲撮影終了後、江口洋介さん、木村佳乃さんを囲んで記念撮影